

## めいとく権利擁護自己評価表結果一覧 R2.12月 回答数54

前回より評価が上がっていけば↑、下がっていけば↓、変わってなければ→で表示する

番号	評価内容	前回の平均	今回の平均	前回との比較
1	ご利用様を「さん」付けにて名前を呼びます。 ※呼び捨てやニックネームで呼びません。	4.5	4.3	↓
2	スタッフ相互の会話や会議等の場面においても、ご利用様に対して敬称を付けます。	4.5	4.5	→
3	ご利用様との会話は敬語を使っています。	3.5	3.6	↑
4	ご利用様に対して「～しなさい!」のような上下関係での命令語は使用しません。	4.4	4.4	→
5	ご利用様の言葉や身体的特徴をまねしません。	4.4	4.4	→
6	ご利用様がおびえたり不安になったりするような威圧的な態度はとりません。	4.4	4.5	↑
7	身体的暴力・言葉の暴力・無視等、ご利用様を傷つける言動は行いません。	4.6	4.6	→
8	ご利用様の訴えに対して「ちょっと待って」は使わず、見通しのたつ具体的な声かけで返答をしています。(例:〇〇が終わったら行きます。)	3.7	3.8	↑
9	ご利用様自身ができることを職員が代わりにしません。	4.0	4.0	→
10	不適応行動があった際は、叱責ではなくなぜそのような行動に至ったかを考えます。	4.0	4.0	→
11	職員都合により、ご利用様を急かしたりしません。	4.0	4.1	↑
12	必要な情報・説明事項などをお伝えする時はご利用様の理解度に 応じて 分かりやすい言葉や非言語的表現に置きかえます。(ルビ、図、絵 カード)	4.0	3.9	↓
13	業務上知り得たご利用様に関する事柄は、第三者へ話しません。 (第三者は自身の家族や親戚も含みます)	4.8	4.9	↑
14	本人の意思や希望を理解するために、本人の嗜好や希望、価値観などについて 支援者間で情報共有出来るようにしています。(ご利用様の状況 報告)	4.2	4.4	↑
15	ご利用様の変化に気づくよう目配り・気配りをしています。	4.3	4.4	↑
16	ご利用様の変化に気づいたらすぐに情報を発信しています。 (報告・連絡・相談)	4.4	4.6	↑
17	ご利用者に関する出来事を簡易的ではなく前後のことなど詳しく伝 達しています。(申し送り等引継ぎ)	4.2	4.3	↑
18	他職員がご利用様に対する支援の在り方・言動に疑問を感じたとき は、小さな事でもいいので直ちに上司へ相談・報告をします。 ※職員の支援放棄・虐待を未然に防ぐ	4.0	4.1	↑
19	どんな時でも温かい雰囲気と笑顔で接し、ご利用様がどんな場面 でも安心して過ごせる環境作りを行います。	4.1	4.1	→
20	ご家族やご利用様から既存のサービスメニューにないサービスを 求められたときは、話し合う場を設け出来るだけ応える努力をしま す。	4.0	3.9	↓
21	支援内容に応じて、同性対応を行います。(身体介助、性の話な ど)	4.3	4.2	↑
22	やむを得ず同性介助/同性対応が出来なかった場合は上司に報告しま す。	3.9	4.1	↑
23	プライバシーに関わる申し送りは(排泄や生理等)、ご本人や周囲 に配慮して行います。	4.4	4.3	↓
24	ご利用様の「安心・安全・安らぎ」を守るため、ご利用様及び ご家族からのご意見苦情には真摯に向き合い、迅速かつ誠実な対応 をします。	4.4	4.3	↓
25	定められたマニュアルをきちんと守り、ご利用様の事故防止・安 安全管理に努めます。	4.4	4.5	↑
1=不完全 2=もう少し 3=まあまあ 4=ほぼ出来ている 5=非常に出来ている		4.2	4.2	→

※前回の平均はワークス、介護系合同の結果でしたので、今回比較はありません。